

登山とハイキングの集い

# 汗と笑顔と健康と

今年で4回目をむかえた町民登山とハイキングの集いが7月18日オンネトー（足寄町）で行なわれました。

参加者は、7歳から70歳まで総勢150人で、それぞれ自分の体力にあわせて登山とハイキングに足りも軽く出発しました。青空のもと、オンネトーの湖水を眺めながら雄大な自然林の中を全員が歩き通しました。

山頂からオンネトーの自然を見渡しながらの昼食は格別。登山の汗は野中温泉で流し、夏の一日を楽しくすごしました。好評のこの集いは来年も開かれますので、ご期待ください。

# まくべつ

— No. 295 —

広 報

8

1976

発行 幕 別 町  
編集 町民課広報広聴係  
印刷 大同出版紙業株式会社

# 住民要求をもとに

## 総合計画 後期5ヶ年ではこんな事業を



住みよいくらしをめざして「幕別町総合計画」が昭和四十六年にスタートしてすでに五年が過ぎ、この間に経済情勢や住民の生活は大きく変わってきました。前期五年間に総合計画にそってどんな町づくりが進められてきたのかは先月号で特集しましたが、今月は後期五ヶ年の町づくりの基本構想と事業計画についてお話しします。総合計画は昭和四十九年に行なわれた「町づくりに関する調査」で、住民のみなさんが望む町づくりを基礎につくられたものです。

昭和四十六年を初年度として昭和五十五年を最終年度とする幕別

## 二万二千人がくらす町へ

### 人口は

人口指標は昭和五十五年の目標年次に三万人となっていました。前期五ヶ年の増加はわずかに六十人で率で〇・三%の増にとどまっていることと、昨年の国勢調査での人口は一万八千四百四十六人であることなどから達成しうる数値ではなく、後期計画の策定では二万二千人と修正されました。

なお、この目標人口は過去の推移からするとやや過大ではないかと思われるかもしれませんが、ごく最近の人口増加率（昭和四十八～五十年）は年率一・〇二%の伸びを示しており、今後の住宅宅地行政など施策的要素を加えると適当なものと考えられます。

町総合計画が策定されてから早くも五ヶ年が経過しました。この間わが国の経済は石油危機に端を発する高度経済成長政策の破綻と、その後の総需要抑制政策によってスタグフレーション（インフレと不況の同時進行）が進みました。このため、町財政も自主財源が不足し依存財源の制約もあって、かつてない厳しい局面にたたされておられ、現実に即した総合計画の基本構想の見直しがされました。

また、世帯数六千百十一世帯の想定についても核家族化が急速に進む中で、一世帯当り三・六人（当初三・八五人）と見こまれます。

次に就職人口の想定ですが、一般的な傾向として人口の老齢化が著しくなっていますが、本町の場合は管内町村に比較すると生産年齢人口（満十五歳から五十九歳までの生産活動に従事できる年齢層）の比率も高いため、総人口に対して五三%の就業人口を推計しました。

産業別人口については、当初の想定が工業化指向が極めて強かつたのですが、国の施策が高度経済成長から安定成長へと転換したこともあって第二次産業（建設業、製造業）の急速な成長は望めなくなりませんでした。一方、第一次産業（農

林漁業）の中では特に農業が町の基幹産業として、また、食糧の自給率などの観点から見直され、基盤整備が進められるとともに、農村地区からの人口流出も昭和四十九年以降鈍化の傾向にあります。第三次産業（商業、サービス業、運輸・通信）は、十勝管内の中核都市圏としての機能を分担する中で着実な伸びを示しています。

したがって、産業別構成比は第一次産業二八・五%（当初想定一六・六%）、第二次産業二一・七%（同四四・二%）、第三次産業四九・八%（同三九・二%）と修正されました。

### 所得は

前期五ヶ年の中で著しい経済変動があり、インフレションの進行で当初想定された指標と現実とは大きな差異が生じているため修正されました。

今後五ヶ年間の伸びとして年率一四・八と想定していますが、前半は期待できないとしても景気の回復を見越し、また就業人口の増加に挨つものとして推計されたものです。

なお、所得の伸びは昭和四十五～四十八年の三ヶ年では年率二四・一%と高い伸びを示していますが、昭和四十八～五十年の二ヶ年では年率九・一%の伸びにすぎず不況の深刻さがうかがえます。

# 十勝の中核都市圏として

後期五ヶ年は総合計画の仕上げの期間にあたりますが、策定された事業は町民のみなさんのアンケート（まちづくり）についての調査・昭和四十九年実施）を基礎として、町の将来のあるべき姿を想定して計画されたものです。

したがって、住民要望と直結した事業であることから、計画期間内の実現をめざしています。項目別に内容を説明します。

## 1 明るく豊かな町民生活の確立

ここでは町民生活基盤の整備を主としていますが、特に上下水道は町民の多年にわたる要望であるため早期完成をめざしています。上水道事業は五十三年度までに札内市街地区全域へ幕別浄水場から水が送られます。一方、下水道事業は幕別市街地区の鉄道北側を対象に後期五ヶ年計画で終末処理場の建設（明野）と下水管布設が計画されています。

ますます要望が高まっている公園造成については、札内南一児童公園、宝町児童公園、寿町街路公園、もみじ児童公園（旭町）など七ヶ所を五年間で造成整備していく予定です。

福祉施設として、おとしよりが集い同時に憩いの場となるような老人保養ホーム（仮称）の建設が幕別温泉付近に計画されています。

また、宅地化が進む札内地区ではふえ続ける保育児童に対処していくためにさらに一ヶ所、保育所の増設を図ることは明るく豊かな町民生活を確立していくうえで欠かせない事業です。

## 2 躍動する産業経済の展開

農業振興に関する計画については、十勝川沖積土地帯のそ菜産地化、その他の地帯では大型農業（畑作、酪農、混合農業）をめざしその基盤整備事業として計画される農用地開発事業、明渠排水事業、畑地帯総合土地改良事業など国営道営事業の完成促進を図っていきます。

近年の木材市況の低迷から造林意欲の低下が見られますが、水源の確保、治山治水、自然保護の立場からも森林機能の充実を進めていきます。

工業については、急速な発展は望めないにしても地場資源工業、地元消費工業、内陸型機械工業、農産加工などの育成と誘致を積極的に進めます。商業は、近年市街地域の人口の集積が高まる中で購売力は伸びていますが、帯広市に隣接する地理的条件から耐久消費材の購入については町外流出が見られるのが商業診断調査を行ない対策を見出す方向で事業を進めていきます。

## 3 時代に先んじた交通通信体系

町内幹支線道路網の整備には町民の要望が最も強く、前期五ヶ年計画でも重点的に事業が進められてきましたが、五百九十メートルに及ぶ延長を有するために改良率一四％舗装率四％といずれも低く、さらに理しなければならぬ」として見ます。

つまり、総合計画は将来を見通して社会資本の整備を計画的に進めることをいいます。社会資本には、鉄道、道路、港湾、工業用水、工業用地などの産業に関連するものと、公営住宅、水

に事業の促進を図らなければなりません。

計画では継続中のものを含めて道路三十九本、橋梁七ヶ所の整備のほか、国・道営事業によって二十七本の道路整備を予定しています。

## 4 創造性豊かな教育と学術文化

学校教育施設の整備は、人口の市街地集中と農村地域の過疎化が進む中で学校の適正配置が進められていますが、小学校の整備は後期計画に集中しています。

特に札内第二小学校の建設は、札内地区の児童数の激増で白人小学校が分散授業を余儀なくされている現状もあり、早期に建設しなければならぬ時期にきています。用地はすでに札内中学校南側に取得しています。幕別小学校は五十一年から五十三年まで三ヶ年で建設されます。

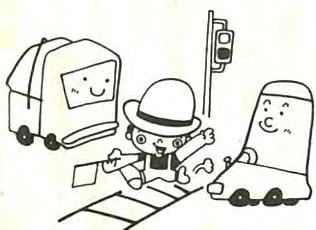
社会教育施設は、幕別小学校あと地を利用して体育館（図書館と病院、保健所、学校、公園、下水道など住民生活の向上に直接的に貢献する生活関連のものがあります。また、最近の公害発生などから社会資本をより広くとらえて大気、水、土壌などの資源も社会共通の資本であると考えられています。

郷土館を併設）を建設する計画ですが、運動公園との一体的な機能を果たすものとしてつくる予定です。

## 5 自然の保護と活用

国民宿舎の経営は、経済不況と管内、町内に同種企業の立地もあって利用率は低迷が続いています。が、国民宿舎事業は本来的な目的（国民の保健保養、レクリエーション施設）のほか、地域開発、町のイメージアップに大きく寄与してきました。引き続き必要な改装整備や、周辺の環境整備を進めて利用客の増大を図っていきます。以上、後期五ヶ年に計画されている事業の概略はおわかりいただけたいと思いますが、次号からはそれぞれの事業を何回かに分けて、くわしくお知らせします。

### 子供の交通事故防止



夏休み中の子どもを交通事故から守りましょう

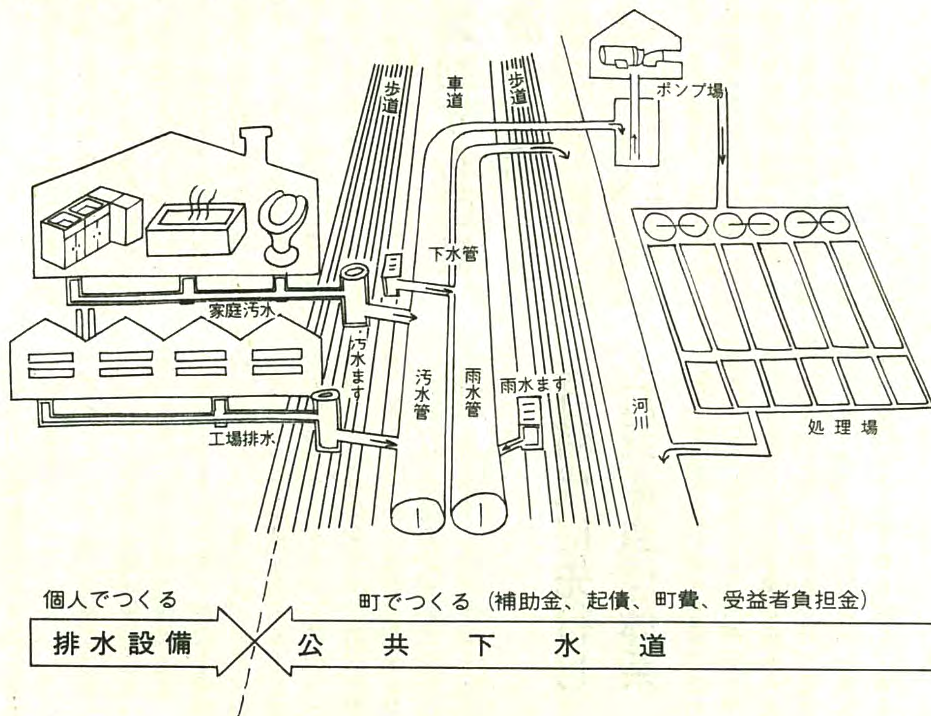
# 自然とくらしを守る下水道

## 汚水も驚くほどきれいに



だれもが望んでいる健康的な生活——今、一番問題になっている環境汚染——この対策に正面から取り組んでいる本町の下水道事業を、広報七月号から十一月号までの五回に分けてご紹介します。

〈下水道のしくみ〉



### 下水道とは

家庭から流される台所や、風呂

られた汚水管をとおして終末処理場に集め、きれいに処理して放流するしくみをいいます。

また、雨水は雨水管をとおして

### なぜ必要か

下水道整備の目的は、大きく分けて次の二つです。

第一は、公衆衛生の保持、公害防止などの見地から健全な都市環境を確保することです。都市には住宅が密集し、事務所や工場などでの事業活動も極めて盛んで、これらから排出される汚水は全て河川に流入し、水質の汚染、汚濁を招き、住民の生活と健康に害を及ぼすなど公害発生の要因ともなっています。

下水道施設の整備は、これらの公共用水域の水質を保全すると同時に、し尿の個別収集方式を水洗に切りかえ処理の衛生化、効率化を図ることが直接的な目的です。

第二の目的は、河川管理と連携して雨水などの合理的排除をはかり、市街地を溢水や浸水などの被害から守ることです。日本の都市は一般的に低湿地に形成されてきたものが少なくありません。

本町の市街地形成も例外ではなく、排水不良のため被害をみています。また、最近では札内市街(団地)のように、新しい市街地の多くが従来は水田であった所に開発されるため、同じような危険があることから他の都市施設に先がけ下水道施設が整備されなければなりません。

以上のことから、いかに下水道の整備が必要かはおわかりいただけると思います。その計画は住民のみなさんと十分相談して進め

### ゴミ、ビニール袋販売店

ゴミ収集用のビニール袋は幕別地区十八店、札内地区十三店で販売されています。価格は十枚入りで八十円です。

- 〔幕別地区〕 池浦商店(本町) 木川商店(同) 新栄商会(同) 滝川商店(同) 田村商店(同) 平井鮮魚店(同) 藤平商店(本町) 斉藤鮮魚店(本町) 湯浅精肉店(同) 笹井金物店(錦町) 笹原産(同) 須田商店(同) 中川商店(同) まるだいまート(同) 早津薬局(同) 森野精肉店(同) 山本商店(宝町) 神内商店(緑町)
- 〔札内地区〕 札内フードセンター(中央町) 細川天光堂(同) 加藤スーパー(同) 久保実商店(同) 森下商店(青葉町) 古賀商店(春日町) 林商店(同) 柴野薬院(泉町) 三井ストア(あかしや町) 石田商店(桂町) 高坂商店(共栄町) 岡野商店(同) 関口商店(西町)
- 〔猿別市街〕 遠藤商店
- 〔糠内市街〕 砂田商店 橋本商店 島倉商店

燃えるゴミと  
燃えないゴミ

### 区別をして

町では現在、三台の清掃車が毎日六トン以上のゴミを集めて

流される排水を道路下に深く埋めを総合して公共下水道といえます。道事業計画をお知らせします。

# 6月牛乳、小麦粉、灯油は強気配。

今月から十勝管内の近隣町村の物価動向をお知らせします。

この資料は、『帯広圏物価及び消費者行政連絡会』が十勝管内の市町村を対象に食料品、灯油、日用品などの価格を調査したものです。幕別町の他四市町を抜萃したものです。

六月の物価動向の特徴は管内全般に大きな変動は見られませんが牛乳、小麦粉、灯油は強気配、逆に食用油、砂糖などは比較的弱気配となっています。

	幕別町	帯広市	池田町	音更町	豊頃町	十管内平均	対前年比
豚肉 (上100g)	円 168	円 168	円 160	円 167	円 163	円 164.7	% 19.3
鶏肉 (若100g)	139	134	140	127	133	131.6	24.7
牛乳 (よつ葉500cc)	104	104	110	101	106	106.2	11.7
バター (雪印225g)	299	304	313	302	315	304.4	15.7
チーズ (雪印225g)	260	249	281	258	275	264.3	0.5
小麦粉 (薄力1kg)	150	151	187	153	163	154.0	11.5
味噌 (寿桐印1kg)	178	196	190	187	200	190.3	▲ 1.1
しょう油 (キッコーマン 1.8ℓ)	341	343	348	325	358	350.4	▲ 1.1
サラダ油 (日清1,650g)	688	710	656	663	723	699.2	▲ 6.6
天ぷら油 (日清1,650g)	611	631	600	578	640	618.5	▲ 6.8
砂糖 (スズラン 上白1kg)	271	278	278	275	300	281.6	▲ 8.0
マヨネーズ (キューピー 300g)	203	202	232	194	220	206.5	▲ 3.2
クリーニング (白 Y)	100	92	123	105	113	102.7	7.0
理髪 (大人)	1,400	1,481	1,785	1,325	1,500	1,371.7	6.8
ちり紙 (白竜 1,200枚)	383	386	383	332	466	394.5	1.2
トイレットペーパー (ホクシー 4ロール)	209	206	181	155	233	201.1	▲ 1.8
洗剤 (新ザブ 1,660g)	578	566	630	562	613	655.0	-
灯油 (1ℓ)	37	36	37	37	37	37.4	9.7
灯油 (18ℓ)	666	673	658	680	765	678.6	10.0

※対前年比 ▲は下がった品目

このうち、燃えるゴミは帯広清掃工場へ帯広市ほか五町村の共同施設で燃やしています。しかし、幕別から運びこむゴミの中に焼却炉では処理できない金属類やガラス、セトモノ、プラスチック、ゴムなどが多量に入っています。

これは、他の市町村には見られないことです。帯広清掃工場の調べでも、燃えるゴミと燃えないゴミの区別が幕別が最悪といわれております。お互いにゴミを出すルールを守って衛生的な燃えないゴミの収集日は次の通りです。〔第一金曜日〕幕別市街、糠内市街、駒島市街、猿別市街 〔第二金曜日〕札内市街、相川東、千住東、途別 〔第三金曜日〕幕別市街 〔第四金曜日〕札内市街



親は子どもの学校生活以外の一日の過ごし方について、子どもたちが毎日を楽しみ、しかもきちんとした行動ができるように、そしてそれが子どもの将来のために必要な活動の場が用意されることを願っています。



古酒昭治 (新町) 幕別地域子ども会 育成連絡協議会長

子どもたちの交友関係は案外不安定なもので、親はわが子によい友だちができることを願っています。その友だちが親の願い通りの子であるとは限りません。

子どもは家で退屈をまぎらわせることができなければ、外でもしろいことを探さずしょう。そんな時にいろいろな危険が待ちうけています。

子どもの長所や短所は大勢の友だちの中で見分けることができず。よい社会性の発達に伴ってその真価は集団の中で発揮され、よい社会性は学校での生活や家庭の中で育つことは言うまでもありませんが、友だちとの遊びの中や集団生活によって育ちます。

健康とは、健全な体と心と心と言いますが、その他に社会性が必要でありこれらが近年、健康の三要素とされています。子どもたちが健康に育ち、よい社会性が身につくよう父兄の方々の力で地域子ども会活動を発展させることを期待します。

## 地域子ども会の発展を

### 集団の中でつくられる社会性

また、子どもが大きくなると時間をもてあましがちで、そんな時は親は勉強をさせるか、お手伝いを考えますが、子どもは別なことを探しています。

こうした危険を防ぐために、子どもたち自身でしっかりと自分たちの生活を見つめ、健全な生活を営めるようなよい環境を整えてやりたいものです。

集団生活における集団の力は、その子どもに強い影響を与えるので、集団に受け入れられるためには自分自身の考えを変えなければならぬこともあり、性格的な欠点を直すことに努力することでしょう。

日常生活の中で私たちはいろいろなことを感じ、考えます。しかし、それが一人のつばやきで終わってしまつては地域社会に反映することはありません。あなたの声をこのコーナーにお寄せください。

# 健全育成の環境づくり

青少年相談員を設置

町の未来を担う青少年を健全に育成することは町民の願いです。この願いをこめて青少年健全育成活動を町内各地域に浸透させ、地域の支援協力のもとに自主的な住民活動を活発に進めていくために青少年相談員を設置しました。相談員のみなさんの役割には、地域の青少年の実情を的確につかみ健全育成に必要な環境や条件をつくる、地域に青少年健全育成の意識の高揚を図ることなどがあげられます。

しかし、中学、高校生による非

行が増加するなど低年齢化し、万引や窃盗、シンナーなど有機剤の吸引に見られる遊び型、逃避型の非行が増加していることを考えると、青少年問題解決のカギは相談員だけの努力ではなく、地域や家庭、学校など住民一人一人が問題意識を持って取りくむことにしかありません。「うちの子に限って……」「あの子に限って……」と思う前に、子どもの生活に注意をしましょう。

相談員は次の方々です。  
〔幕別地区〕 大串良市 大橋

猛 市丸珠己 西山久雄 金沢誠  
高桑茂 福野黎明 古酒昭治 大橋ツヤ子 田所富男  
〔札内地区〕 馬淵良一 菊地国二 山口幸一 逢坂敏一 鳥羽誠市 古川幸子 西田幸雄 森脇末雄 板垣竣介 菊地富男  
〔糠内地区〕 岡本光男 美濃性由 山本隆(駒島)



青少年の健全育成に意欲を燃やす相談員



## 生活の中に軽い運動を…

主婦にとって買い物は、毎日の生活の中で必須の時間帯といえます。家の近くの食料品店や雑貨店やスーパーマーケットから、ときにはバスや車で遠距離のデパートへと、買い物は体を移動する運動の場となっています。

しかし、御用聞きや電話注文などで主婦が体を使う機会は、ますます減少の一途です。運動不足解消の場として買い物前に軽い運動をしてみましよう。

### ▼運動(1)

①：しゃがんで  
膝に手を当て、ま後ろの椅子に腰かけるつもりでしゃがみ、次に左横、右横に椅子があるつもりでしゃがみます。(回数は自分で決めて、今日は十回：明日は十五回と徐々に回数を増やしていく)

### ②：のびて

指を組んで、手のひらが天井を向くようにゆっくり大きく伸び上げます。つま先立ちして腹を前に出さないように、まさに伸び上がりましよう。

### ③：ひねりましよう

伸びた腕をふりおろして体にまきつけるように左右にひねります。



## 平井君が 高校 柔道 全道優勝

第二十六回全道高等学校柔道大会兼全国高等学校柔道大会北海道



予選大会が去る六月二十四日に岩見沢スポーツセンターで開かれ、緑町の平井武

さんの長男、正人君(北海道高二)が中量級全道チャンピオンになりました。

平井君は幕別柔道連盟出身で、中学三年のときには全道大会(旭

## 内訪 町探

### 荘厳寺 (南勢)

時を知らせて四十五年南勢では毎日午前十一時になると、鐘の音が聞こえてきます。これは、荘厳寺の住職の下田政導さん(七十五歳)が毎日、お寺の軒につるしてある鐘を鳴らしているものです。

下田さんが鐘を鳴らすようになったのには、二つの意味があります。その一つは「今日もお寺の鐘が鳴っている」という布教のためと、もう一つは農作業に忙しい毎日をおくっている人たちに正確な時刻を知らせてあげようと、昭和七年に始めたものです。

下田さんが法要などで留守の

ときには、奥さんの多喜さん(六十七歳)がかわって鳴らし、現在まで四十四年間も続いています。今では、「お寺の鐘が鳴っているから、もうひと仕事してからお昼ご飯にしよう」というほどまでに、地域の人々の生活の一部となっています。



今日は下田さんが留守なので、奥さんがピンチヒッターです。

川へ出場するなど活躍していました。今回の全道優勝で平井君は八月上旬に長野市で開催される全道大会(インターハイ)に北海道代表選手として出場します。

### 第六回町民朝野球

葉山電器が優勝

町内の二十五チームが参加した町民朝野球の結果は次の通り。

優勝 十勝葉山電器

準優勝 幕別商工青年会

# 青空のもと 145頭の牛と馬

第28回家畜まつり



わが家自慢の牛の晴れ姿

六・駒島) ▼肉牛の部 橋詰隆男(明倫) ▼馬雄の部 小笠原孝一(大豊) ▼同雌の部 棚橋吉一(相川)  
これら品評会のほかにも、牛肉や玉子の即売などもあり一日中、多くの人々で会場は賑わっていました。

## 激励会とあわせて開催

### 身障者協会総会

七月十四日、幕別温泉で身体障害者福祉協会幕別分会が昭和五十七年度の総会を開きました。この日は八十七名の会員が参加して今年度の事業計画の審議、役員改選が行なわれました。新役員は次の通りです。  
会長 橋本俊光  
副会長 米山英夫・大岡初五郎・小松田吉雄



総会の後、激励会で歓談

理事 折笠信一・大野止・若山亀太郎・嵯峨山潔・佐藤昌嗣・萩原正雄・山田弘・国見正夫  
桜井鶴雄・松田豊一  
監事 笹島一郎・松村香

事業計画では、八月一日に陸別町で開かれる十勝身体障害者スポーツ大会に幕別分会から二十名の選手が各種目に出場することになっています。この大会には先月号で紹介した分会旗を持って参加します。

## 広場

### 小原流 生花教室

町民会館では 毎週火曜日、夕方五時から「小原流生花教室」が開かれています。

この会は、十一歳から、歳まで会員は十二名で、会長は佐藤千代子さん(緑町)。

毎週火曜日のお稽古のほかに、先花教室の活動として文化祭(十一月)では華展を開き会場を訪れる人の目をひいています。また十一年位前から幕別駅に毎週、無料で花を生け、通勤や通学の人々の心をなごませていきます。

先生は帯広の岩脇美紀さん。この会の指導にあたって八年になりこの教室を巣立った人は十人を数えます。

ふきのとう、ワラビ、ゼンマイ鬼百合など周囲の山野にある植物も生花として使えるそうで、生徒のみなさんも創造の美に楽しそうでした。



作品にとりくむ会員のみなさん

## 健康XE 糖尿病

.....②

糖尿病はどうして起きるかというと、これは、たいへん複雑な問題でいろいろな原因が考えられています。

遺伝：いろいろな調査により、糖尿病患者百人中二十〜三十人に遺伝が証明されています。糖尿病になりやすい体質

つまり、すい臓のインシュリン(体の中で糖分がうまく利用されるように働くホルモン)を出す細胞が弱い人に起こるといわれます。

## 原因は肥満、過労、遺伝……

過食と肥満：肥満すると大きい体を養うためにたくさんインシュリンが必要となります。そして、ついにはすい臓のイン

肥満→糖尿病といった形で発病するものが多くみられます。

次に精神過労(心配、苦悩、頭の使すぎ)が原因のひとつ

インシュリンを出す細胞が疲労してインシュリンが不足するようになります。糖尿病が起こってきます。特に中年以後に起こる糖尿病では、過食(美食)→運動不足↓

とされています。このほか、不摂生、無理な労働、いろいろのストレスが糖尿病を起こしやすい原因となっています。

要するに、糖尿病は生まれつき糖尿病になりやすい体質の人が生後数年から数十年の間に、さらに過食や肥満、精神過労、不摂生など糖尿病を起こしやすい状態になると、体内でインシュリンの不足が起こって発病するわけです。



# 大麻をなくそう

が発見され、処理されました。大麻の悪用は、自制心を失わせ精神錯乱を起こし、ついには暴力行為や犯罪を犯す恐ろしい結果になります。

大麻の特徴には次のような点があげられます。(写真参照)

①人家のまわりや道ばた、空地などに生え、全道いたるところにあり毎年五月から九月頃までに生育し、秋になると実がなります。

②茎は四角形で縦溝が走っており高さは一メートル以上でまっすぐに立っています。③葉の縁がギザギザで先端がとがっている小葉が数枚集まり掌状となっています。

ビニール袋によるゴミ収集にご協力ください。

④臭いをかぐと独特の「青くさい臭い」があります。

道内の野生大麻は本州方面からの旅行者によってかなりの数が持ち出され、青少年をむしばんでいます。

野生大麻撲滅の対策は、保健所

## 空地の雑草刈りを野火の防止

今年も四月から五月に町内で十八件の野火が発生しました。

原因を見ると、枯れ草に火を入れたまま現場を離れたり、火入れ後の不始末が主なものとなっています。

ます。

このような野火から車庫、物置山林などを焼失し、損害もたいへん大きくなっており損害額で三百十一万四千円となっています。また、野火が発生するたびに周囲の建物に危険にさらされるとともに自分や他人の財産に損害を与えることとなります。

このような危険をとり除くためにも市街地などの空地の草を今のうちに刈り取り、危険のないようにしておきましょう。

該当する土地の所有者、管理者の方は、秋までに二回ほど草刈りを実施してください。

(幕別消防署・予防係)

篤志寄付ありがとうございました

千円 匿名の方から、少しばかりですが子どもたちへと町社協へ。

二万円 青木金蔵さん(新和)から、母が生前お世話になりました。

三万円 松田康男さん(軍岡)から全快祝を廃して町社協へ。

千円 匿名の方から、今月も心ばかりですがと町社協へ。

二万円 千賀はつ子さん(西和)から、病気全快を祝して札内寿会へ。

三万円 服部英男さんから、父が生前お世話になりましたと町社協へ一万円、新和老人クラブへ。

二万円を。

三万円 大西信雄さん(新和)から、母が生前お世話になりましたと町社協へ。

二万円 若葉牧場から、日新老人クラブへ。

一万円 掛川牧場から、日新老人クラブへ。

百万円 東興ブロック株式会社(齊藤毅雄社長)から、開基八十年記念事業基金として。

八十万円 日置砂利工業株式会社(日置米蔵社長)から、開基八十年記念事業基金として。

百万円 幕別町建設業協会から、開基八十年記念事業基金として。

消費者コーナーは休みます。

## お誕生おめでとう

敬称略

- 伊藤 好男(光一・長男) 幸町
- 加藤 大輔(勝美・長男) 本町
- 沢田 麻美(治夫・長女) 宝町
- 榎本 康明(正・長男) 緑町
- 律 祐樹(達己・長男) 旭町
- 扇谷 洋亘(弘一・三男) 旭町
- 雨山 千鶴(清市・長女) 旭町
- 東野 浩(賢治・長男) 旭町
- 八十嶋啓行(正行・三男) 新川
- 大石 征弘(建夫・三男) 明野
- 千葉 照美(敏文・長女) 南勢
- 八太 敦志(勝美・長男) 五位
- 木田 直樹(将美・長男) 中央町
- 赤間 寛貴(実雄・長男) 泉町
- 藤山 綾子(光朗・長女) 泉町

## 結婚おめでとう

敬称略

- 宮下佐和美(美久・長女) あかしや町
- 岩野 実(英昭・三男) 青葉町
- 長谷川真砂子(昇・長女) 青葉町
- 在原 淳(聡・長男) 豊町
- 柴田 謙一(清一・長男) 稔町
- 辻 寛史(六郎・長男) 春日町
- 本保 貴裕(武・長男) 春日町
- 島勝めぐみ(昇・長女) 共栄町
- 佐藤 大輔(正幸・長男) 共栄町
- 平賀 淳(幹夫・長男) 共栄町
- 佐沢 陽介(力男・長男) 千住

## 成人式おめでとう

敬称略

- 多田 勉(なみ子(中屋敷) 旭町
- 山口 幸吉(邦子(角井) 旭町
- 渡辺 保嗣(定子(幅口) 五位
- 西明愛次(由美子(今野) 弘和
- 中野 安藏(俊子(高橋) 中央町
- 佐賀 由市(勝枝(青木) あかしや町
- 佐藤正博(智江子(長屋) あかしや町
- 岩間清美(たか子(真鍋) 泉町
- 朝日照夫(智子(須之内) 文京町
- 渡辺 治(京子(中尾) 新北町
- 中島 孝(信子(石川) 千住
- 黒島 勉(松子(赤間) 千住
- 牧野 新六(軍岡) 七十六歳
- 木沢 キヨ(新和) 五十八歳
- 久保沼富子(駒島) 五十五歳
- 岡島 宇一(緑町) 八十一歳

## 食中毒の予防



清潔、迅速、冷却又は加熱の三原則を忘れずに